

てしお

議会だより

No.173
令和3年5月26日発行
北海道
天塩町議会



令和3年度 **予算** を認定

第1回
定例会

4事業を次年度に繰り越し

一般質問

6名が町の方針を問う

こども園
「子どもの日お祝い会」



まちなび

天塩町青年協議会のみなさん



HPはこちらからチェック！

予算等審査 特別委員会

3月16日～18日

【前年度対比 **0.6%増**】

令和3年第1回定例会において、令和3年度一般会計ほか各特別会計予算案などが提案されました。これに伴い、特別委員会に付託し審査することとし、3月16日に「令和3年度予算等審査特別委員会」を設置、正副委員長の互選後、質疑を行ったのち、採決を行い、全ての議案を「認定すべきもの」と決定し閉会しました。



主な事業

新規

- 役場庁舎の耐震化設計を行います **1,054 万円**
- 高校プールを町民向けに整備します **3,390 万円**



継続

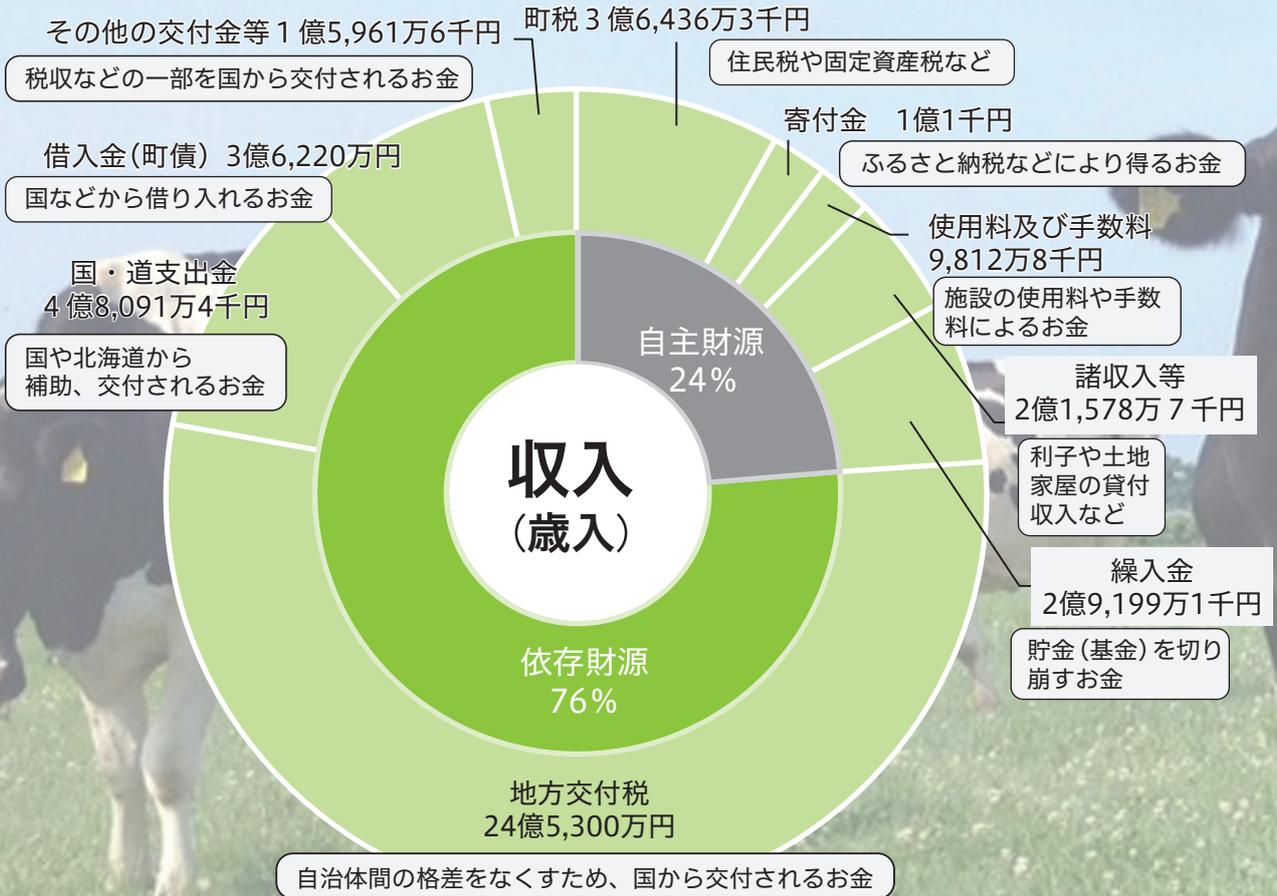
- 住宅リフォームを支援します **1,000 万円**
- しじみ資源回復への取組を行います **2,344 万円**



新年度 予算

一般会計

45億2,600万円



全会計の内訳

会計名	令和3年度	令和2年度	比較	増減率	
一般会計	45億2,600万円	44億9,800万円	2,800万円 増加	0.6%	
特別会計	国民健康保険事業	4億6,500万円	4億6,600万円	100万円 減少	▲0.2%
	病院事業(収益)	7億8,260万円	7億7,780万円	480万円 増加	0.6%
	病院事業(資本)	9,820万円	8,710万円	1,110万円 増加	12.7%
	水道事業	2億7,430万円	2億7,250万円	180万円 増加	0.7%
	下水道事業	3億2,480万円	2億6,000万円	6,480万円 増加	24.9%
	介護保険事業	3億5,600万円	3億5,000万円	600万円 増加	1.7%
	介護保険サービス事業	5,250万円	5,730万円	480万円 減少	▲8.4%
	後期高齢者医療	4,790万円	4,720万円	70万円 増加	1.5%
	町民保養センター事業	6,300万円	5,600万円	700万円 増加	12.5%
全会計合計	69億9,030万円	68億7,190万円	1億1,840万円 増加	1.7%	

780万円



商工費

天塩町観光協会事業補助金
どんな企画を行うのか

山本 今年度もお祭りの予算を計上しているが、どういった企画をいつ行う考えか。

商工観光課長 コロナ禍で見通しが不透明のなか、町民の方々の元気づけに最大限役立つものを考えたいです。

2344万円



農林水産費

パンケ沼底質改善事業補助金
補助金のあり方は

遠藤 補助金の年度が決まっている。期間を決め、実績から必要であればさらにやるのが補助金のあり方ではないか。

町長 町民へ補助金の効果をオープンにしながら、ご指摘のあり方で行きたいです。

1億1322万円



土木費

町道など除排雪経費
町民に喜ばれる体制へ

横山 町道を除雪すると家の前に固い雪がつかれ、高齢の方だと手がつけられない。町民に喜ばれる除雪体制を検討してほしい。

建設課長 福祉課と一緒にどういう形で応援できるか協議したいです。

1185万円



商工費

鏡沼海浜公園管理経費
遊歩道土への転換は

国奥 木製の遊歩道は壊れて通れない場所があるため、木から土へ置きかえてはどうか。商工観光課長 木の取り換えは多額になり、木を撤去すると沼の景観が見えなくなります。今後は土への置きかえも加味しながら検討を行います。

5544万円



温泉

町民保養センター管理経費
モニタリング制度を

横山 支出は増えているが町民の満足度が上がっていない。町民や利用客の声を拾うモニタリング制度の考えは。

町長 利用者の話や理事者同士の段階を踏まえて対策を考えたいです。

320万円



教育費

歴史資料館管理経費
施設の安全確保策は

国奥 建物が老朽化し外壁が傷んでいる。通学路に面しているこの施設の安全確保策は検討しているか。

教育長 金額の面もあり、少しずつ直すことや複数の専門家にみていただくことを検討しています。

補正予算ピックアップ

- 大雪による除排雪経費の追加
- 各事業の確定による予算減額
- 4事業を次年度に繰り越し

第1回 定例会

3月8日～18日

歳出（主なもの）

町道など除排雪作業経費	7,132万円
水道事業特別会計繰出金	▲3,619万円
会計年度任用職員給与等	▲3,002万円

繰越明許費

通所介護サービス用送迎バス購入 (介護保険サービス事業特別会計繰出金)	1,348万円
ストレッチャー式シャワー入浴装置 購入(病院事業特別会計繰出金)	880万円
啓徳小学校ネットワーク整備事業	700万円
新スタイル相談・啓発体制構築事業	80万円

各事業で

9500万円減額

補正予算

●一般会計

歳入歳出について、総額を57億5800万円とし、次年度へ一部の予算を繰り越す補正予算案を可決しました。

質疑要旨

新スタイル事業 商工会へ指導を

国奥

新スタイル相談・啓発体制構築事業は令和2年6月の第2回定例会にて予算案が提出、可決されてから10か月になる。

一口メモ

くりこしめいきよひ 一繰越明許費とは一

予算が成立したあとに、なんらかの理由でその年度内に事業が終わらない見込みがあるものについて、次年度へ繰り越す事業費。繰り越しは翌年度に限られる。

対象となる商工会の皆さんが必要なものを話し合ってもらい、令和3年度中に事業が完了できるように指導していただきたい。

総務課長

事業は商工会を事務局として始まりましたが進んでいません。商工会には今後も粘り強く指導してまいります。

行政報告

○コロナワクチン接種

国では医療従事者に2月より接種が開始され、本町においても迅速に実施できるように新年度予算に関連経費を計上しています。

接種は町立病院を会場に、集団接種の形で予定しており、国が示す接種順位により接種券を順次配送します。

接種当日は会場が混みあうことが予想されることから、検温や体調確認、待機場所を分けるなどの感染対策を十分行います。

ワクチン接種の情報提供は、広報誌などで町民の皆さまへお伝えし、接種方法などに関する相談窓口を福祉課内に設置し対応したいと考えています。

その他

(主なもの)

○発言の取消

渡辺修勝議員より、令和2年9月の第3回定例会での一般質問(道の駅の課題について)における自身の発言の一部を、会議録の副本(写し)などから取り消したいとの申し出があり、これを許可しました。



▲町立病院で集団接種を予定

一般質問

第1回定例会の一般質問には、6人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



石山 直継 議員

8

- ①マイナンバーカード普及を
- ②脱ハンコへの見直しは

山本 春光 議員

9

観光振興と協会自立は



国奥 強 議員

10

情報伝達の体制構築を



横山 敦 議員

11

給食費無償化へ



渡辺 修勝 議員

12

酪農ヘルパーから就農へ



遠藤 功 議員

13

小中一貫校への考えは



町の方針を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況および方針等について所信や疑問などをただすことです。

一般質問

石山直継 議員

マイナンバーカード普及を

町長 細かい説明をしていきたい



の付与を行っているが、その実績は。

町長

町内の普及率は

- ① 町内のマイナンバーカードの普及率は。
- ② 平日に来庁できない町民のために休日窓口を開設しているが、利用人数は。
- ③ 休日窓口は交代制で行っているのか。

住民課長

- ④ 2月末現在で証明写真代の補助は165名、ハローポイントの付与は96名に行っています。

これからは手放せない! マイナンバーカード

お持ちのマイナンバーカードを「本人確認書類」として使えるよ!

暮らしを便利に! マイナンバーカード!

- 本人確認書類として使える!
- 各種証明書をコンビニで申請できる!
- 上限5,000円分のマイナポイントがもらえる!
- 健康保険証として使える!
- スマホ・パソコンでOK!

マイナンバーフリーダイヤル 0120-95-0178

▲メリットを感じる説明を

YouTubeはこちら

取得のメリットを

① 普及率が約3割では進んでいないのではないかと感じる。

普及のために取得のメリットを感じてもらおう説明を何回もすべきと考えるがどうか。

副町長

② 新年度以降は普及率をさらに向上させていくという意味で、出張窓口を含め何らかの対応を検討したいです。

石山直継 議員

脱ハンコへの見直しは

町長 国のマニュアルに基づく

見直しへ協議を

国は感染拡大防止とデジタル化の実現のため、約99%の行政手続きで押印の廃止を検討しており、そのための法案が令和3年9月1日施行予定として国会に提出している。

町長

国からの押印見直しマニュアルに基づき、押印見直し方針を策定する。うえ、条例改正が必要なものは議会のみなさんにお願しながら対応を進めていきます。

総務課長

内部で検討部会を設け、各課の現状の様式について手続きを進めたことと考えています。

YouTubeはこちら

山本春光 議員

観光振興と協会自立は

町長 協会三役は自立を意識



観光への対応は

新型コロナウイルス感染症拡大の抑制や社会、経済活動の回復へ国を挙げて取り組んでいるが厳しい状況が続いている。
町も観光政策へ少しでも一歩前進した取り組みが不可欠と考え、3点について伺う。
① 昨年はコロナ禍で予算を組みながらもイベントができない状況に直面したが、今年も何もできない考えか。

② 以前の一般質問でイベントとスタッフのあり方を含め主催者側と議論を深めたいとの回答があった。
町が事務局を担う観光協会の役割として、イベントへの取り組みや観光事業への対応をどう考えているか。

③ 指定管理先であるてしお温泉夕映の魅力づくりへの連携や、道の駅での集客の取り組みへの考えは。

町長 ① 新年度予算でイベント開催経費を計上していますが、開催の是非は予防対策などさまざまな観点から、実施主体において協議、決定されると思います。

YouTubeはこちら



▲協働での魅力向上の取り組みを

②③ 観光協会は事務局を町が担い、専任の人材や自己財源の確保など自立という大きな課題を持っています。
これらの課題を克服し、夕映や道の駅など町の財産を活用した観光を推進するため、町としても協働関係を継続し、地域の活性化を図りたいです。

イベントの協議と自立への対話は

① イベントの見直しはワクチン接種が始まり、克服への道を進もうとする今が良いタイミングだと考える。
町が補助金で各団体へ協力をしていることから、町長が主導して関係者と協議のテーブルについていただくようリーダーシップをとってもらいたい。

② 観光協会の会員は日頃勤務をされていて自由がきかない状態であるため、自立の議論はできていないと考える。
観光協会の事業を町が役割分担することで会員は時間を工夫してできることから行い、その延長線上に自立の議論となる。
協会と自立への対話をしているのか。

③ イベントを町職員や観光協会だけで行うのは限界だと考える。

可能であれば町の人たちにも協力していただけるような取り組みが必要ではないか。
④ 道の駅の改修について町長と商工会とで構想の話をしたと聞いたが本当か。

町長

① コロナ禍のなかでのイベントのあり方が見定められていない状況ですが、町として責任をもって関係団体と協議に入り、町民をメインにしたイベントへ前向きに考えたいです。

② 昨年協会の三役とお話をした際に、自立や物産開発、観光について意識を持っていると私は理解しており、この考えを協会全体に広げてほしいです。
③ 町の応援は事業が始まり落ち着く助走期間までが一般的だと考えています。
今後はボランティアや物販などの方からス

④ 休憩スペースが足りないという声、そしていろんな業者さんに商業や観光を発信してもらいたい考えから、道の駅2階への移転の話を申し上げました。
令和3年度中に協議を進め、令和4年度以降に具体的な移転を行う予定で、当事者である商工会の皆さんや議会、町民の方と議論しながら改修について提案していきたいです。



▲商工会の移転に向け協議

情報伝達の体制構築を

町長 秋には目鼻をつけたい



防災情報伝達の多様化を

近年は異常気象による自然災害が多く発生している。

本町においても防災や減災への対策は進められているが、町民からは屋外からの防災情報の音声がかえにくく、いなどの指摘があり、迅速かつ的確な情報伝達への取り組みが求められる。

現在は防災行政無線により情報伝達を行っているが、地域の実情に

応じ伝達手段の多重化や多様化をはかる必要があることから、次の3点を伺う。

- ① 町内全域に光ファイバー通信網を整備するとの計画があるが、その具体的な利活用の計画と運用時期は。
- ② 災害時に高齢者などが介助を求めた場合や、それ以外の場合でも安否確認や避難誘導、避難介助に對しどのように対応する考えなのか。
- ③ 高齢化が進む状況では災害時の対策だけでなく、普段の生活においても健康や医療についても相談できる体制の構築が必要と考えるが町長の考えは。

YouTubeはこちら



町長

① 家庭や学校での情報通信技術の活用やスマート農業の促進などが考えられますが、回線の供用開始に向けてさまざまな利活用策を検討したいです。

② 家族や町内会単位による自主防災組織などに頼らざるを得ない状況です。

平時における安否確認などは、高齢者見守りサービスなどの見守り体制の整備に取り組んでいます。

③ 保健師が各種サロンや温泉での健康相談、電話や家庭訪問による相談の機会を設けており、健康や医療についての不安や悩みに日々対応しています。

光ファイバーの有効活用を

① 光ファイバー回線の利活用への考えは基本的な構想的な段階のものであることから、整備にあたっては町民の要望や意見を取り入れながら行つてほしい。

また、高齢化社会となる状況では、高齢者にとってなじみの深い防災ラジオを各家庭に配備していただきたいかどうか。

② 高齢者見守りサービスなどいろいろな事業が実施されているが、問題は事業に参加されていない方がいることである。

参加されていない方は孤立状態となることから、これを防ぐために外部と連絡ができる体制の構築や、その運用に光ファイバー回線を有効に利用していただきたいと考えるが町長の考えは。

町長

① 回線の整備は道内12市町村による協議会にて一括発注しており、令和3年度中の完了としか伝えられておりません。

今年の秋には目鼻をつけたいです。② 避難誘導などは近所の人や自主防災組織など自助、共助の部分が多くならざるを得ないと想定しています。

防災行政無線は老朽化や法律の改正などにより使用期限が令和4年11月となっており、早急な更新が必要だと思います。指摘のような体制にはならないと考え、防災情報の伝達がどうあり、光ファイバーあるべきか、そして見守りへの体制構築へ意見交換をしながら前向きに努めたいと思つて

光ファイバー回線ときにあわせてできるものはあります。



▲町内14か所から防災情報を伝達

横山 敦議員

給食費無償化へ

町長 前向きに進めていきたい



政策の見直しは

①子育て世代へのアンケートでは、「将来さらに多くの子どもを産みたい」と思いますが「の問いに対し71.9%の方が「思わない」と回答しており、未来を築く子育て応援事業の目的と子育て世代の考えにギャップが生じている。新年度も同様の予算計上されているが、出産時の一時金として応援するのではなく、学校給食費無償化など長期的

な子育て支援へ新たな政策としてシフトしてはどうか。

②厳しい財政状況下において、ふるさと応援寄附金として歳入を確保する必要を強く感じしており、そのためには運用開始となる地域資源開発交流施設の最大限

の活用が求められるが町長の考えは。

町長

①未来を築く子育て応援事業は今後おおむね2年間は継続して行う必要があります。政策の見直しはアンケート結果などを踏ま

の活用が求められるが町長の考えは。

YouTubeはこちら



一口メモ — 未来を築く 子育て応援事業とは —

妊娠や出産、育児にかかる負担の軽減や、若い人たちの定住を促すため準備金や祝金を贈る事業。

【事業の種類】

- ①出産準備金
町内に6か月以上在住するご家庭の出産準備を支援(10万円)
- ②出産祝金
町内に1年以上在住するご家庭で子どもが1歳になったときにお祝い金を贈呈(第1子10万円 第2子50万円 第3子以降100万円)

え、学校給食の無償化や保育の充実を含め検討していきたいです。

②施設は3月末に完成し、町内の資源を活用した特産品の開発や、食を通じた町民利用型の交流施設としての利用を考えています。

施設の活用にあたり畜産業や漁業者との協議を行っています。

今後は施設運営にかかる設置条例を定め、特産品の開発に力を注ぎたいです。

早急な転換を

①子育て政策の転換を実施する時期の考え方が相違している。

定期の転換が決まっている町民も支給対象となる部分は若年層の定住を促すという目的と異なっており、早急な転換が必要である。

出産祝金は親が出産時から1年以上町内に

住民登録されていることが対象であり、条例の改廃時期を制限されるものではない。

未来を築く子育て応援事業を2年間継続する必要性は。

②開設初期の段階では町がリードし、運営する人材を配置することが必要だと考える。

他町では地域おこし協力隊として商品開発や特産品の販路開拓のためのPRを行う人材を募集しており、また、寄附金を多くいただいている自治体は専門部署を設け戦略的に事業を推進している。

専門職員の配置や地域おこし協力隊の起用への考えは。

町長

①事業を完璧に終われないと次の政策にいけないものではないと思います。

子育てに関する要望はあると聞いており、い



▲新たに整備された地域資源開発交流施設

つとははっきりとできませんが前向きに政策転換を進め、議会のみならずとも議論していきたいです。

②施設における人員の配置は重要な課題です。専門性を持った人材の確保については、企業からの人材派遣、職員や地域おこし協力隊からの養成が大事だと考えています。

特産品の開発や販売、ふるさと応援寄附金の返礼品への利活用を一体となって議論できよう前向きに進めていきたいです。

渡辺修勝 議員

酪農ヘルパーから就農へ

町長 検討・検証し実現したい



後継者対策の見直しを

農業振興策として後継者対策や酪農ヘルパーの補助を継続しているが、結果が良い方向に向いておらず早急な見直しが必要である。新規就農は酪農ヘルパーからの移行がスムーズにいく手法のひとつと考えており、関係機関との農業振興ビジョンの見直しの際はヘルパー確保の重要性を提案していただきたいがどうか。

町長

町内の農業経営体は平成27年で134経営体まで減少し、新規就農に関する問い合わせも年間数件ありますが、希望に合うような農家を紹介することが難しい状況です。

農業振興ビジョンではサクシードファーム（農業研修牧場）がありました。が、事実上実現されなかったため見直しを行います。

酪農ヘルパーが新規就農へ移行できる仕組みは必要と考えており、現在の配置のあり方や仕事の中身の強化を関係機関と検討・検証を行い、農業振興ビジョンの実務版として実現したいです。



▲農業経営体は減少傾向

年	酪農ヘルパー	新規就農者
平成27	6人	1人
28	6人	なし
29	6人	なし
30	3人	なし
令和元	3人	なし

▲酪農ヘルパーと新規就農の人数

YouTubeはこちら

地域経済への支援策は

コロナ禍での地域事業者への活性化にハローポイントを繋げられないかと考えている。

例えば新型コロナウイルス交付金を使い加盟業者が負担する分の補助やポイントの倍増により早く満点カードにして買い物をしてもらう事業が考えられる。地域経済の振興を考えた支援の考えは。

町長

ハローシール会は現在23の事業者が加盟しており、町では健康増進事業や社会教育事業の参加促進とあわせてポイントを付与する事業を行っています。コロナ禍で疲弊している地域商工業者への支援が必要という点は同じ気持ちです。第3次新型コロナウイルス交付金の中で給付金では

高校への支援 このままか

天塩高校の2間口維持が難しい状況で、高校への支援はこのままで良いのか。また、通学対策を広く考えることはできないのか。

町長

少子化が進み中学校の生徒数が減少傾向の



▲ハローシール会のポイントカード

なか、天塩中学校から天塩高校への進む割合が5割と厳しい状況であるため、高校の2間口維持は困難になりつつあります。今後は少子化の影響や高校配置計画の動向を見ながら、入学者の確保に向けさらなる魅力化を図るための支援や、近隣中学校に対するPRを継続して実施してまいります。

通学の足については、公共交通計画の中でどう守るのかを令和3年度で方向づけたいと考えています。



▲魅力向上への取組（公設民営塾）

遠藤 功議員

小中一貫校への考えは

町長 総合的に判断していきたい



学校のあり方は

人口問題と教育環境
について4点伺う。

① 昨年の人口動態は全国で出生数、死亡数ともに前年より減少しており、少子高齢化が進んでいる。
人口減少が想像以上に加速している現状を踏まえ、徹底したP D C Aサイクルの再点検による総合振興計画の目標人口の再検証をすべしと考えるが、目標人口確保への考えは。

② 北海道は小学校の1学級の定員を35人以下とする少人数学級の導入を令和6年までに完了するとしているが、各小学校の状況は。

③ 国は小学校高学年の教科担任制導入を令和4年から本格化するとしているが、各小学校の状況は。

④ 少子化に歯止めがかけられない現状で教育環境も大きく変革していると考ええる。

他の自治体では小中一貫校の整備に舵を切り、学ぶべく学校の改善を進めている。

児童生徒が減少するなかでの学校施設のあり方は。

YouTubeはこちら



町長

① 令和2年国勢調査の数値の確定をもって、出生と死亡の動きからなる自然減、転入と転出の動きからなる社会減の2つの面から再検証を行い、施策を展開していきます。

② 学級数の増減はありません。

④ 啓徳小学校校舎の耐震化改修や体育館の吊天井改善などが緊急を要する課題であり、P T Aや地域関係者の皆さまと協議を進めていきます。

先行して啓徳小学校の廃校や天塩小学校へ統合する議論を申し上げるつもりはなく、P T Aや地域で議論があった段階で一緒にお話し



▲避難所機能を持つ啓徳小学校

をするのはやぶさかではありません。

教育長

③ 対象教科として英語や理科、算数が例示されています。

教員配置は北海道全体で決めていくことであり、天塩町は多くて3人ほど配置されると想定しています。

町としての考えは

① 目標人口の再検証は実態を把握し、住民自らが考えた将来の人口予想図となるべきと考え

一口メモ

— 小中一貫校とは —

小学校から中学校までの9年間を一貫したカリキュラムで行う。メリットとして中学校に進学した際、新しい環境になじめなくなる「中1ギャップ」の減少などがある。

- ① 小中一貫校 (沼田町など道内22市町村) すでにある小中学校を組み合わせで行う。校長は各学校に1人。
- ② 義務教育学校 (七飯町など道内10市町村) ひとつの校舎で行う。校長は1人。

町長

① 人口が減少しながらも住んでいる方が良い町だと感じてくれるまちづくりをするための前向きな議論を考えています。

啓徳小学校は1学年が1人や2人という環境であり、今後教科担任制が導入された場合にどんな形になるか心配になる。

天塩小学校の生徒数も少なくなるなか、小中一貫教育への考えは。

小中一貫教育を含めた行政と教育が合わさった議論は、皆さんと総合的に判断していきたいです。

表紙の写真

「こどもの日 お祝い会」認定こども園

4月28日に認定こども園おひさまでこどもの日お祝い会が開かれました。

かぶとをつけての記念撮影などを行ったあとはおすもう大会が開かれ、ちびっこ力士たちが熱戦を繰り広げました。

「やったー勝ったよ」、「くやしいけど次は負けない」と笑いあり、涙ありの楽しい一日となりました。



まちのこえ

No. 17

今回は

天塩町青年協議会のみなさん



天塩町青年協議会
の活動内容は？

会員は現在16名です。

主な活動として「わんぱく」という小学生を対象とした社会科見学や小学校前での街頭指導、クリスマスにサントさんに扮して子どもたちにプレゼントを渡すボランティア活動などを行います。

課題としては、新規会員の募集や他の青年団体との連携があります。

将来のまちづくり
に望むことは？

事業をしていて子どもの人数が年々少なくなっていると感じるので、婚活パーティの開催や公園への遊具の設置、小児科の回数を増やしてほしいです。

新栄通の歩道が暗く、夜は足元が見えないので街灯を明るくしてほしいです。

農業だけでなく水産業や林業にも力を回し、農林水産業の専門的職員を配置してほしいです。

議会や議会だより
はどうですか？

議会の動画配信は良いと思っており、今後はライブ配信をしてほしいです。

ラインでの情報発信は、中高生が町のことを考える良い機会だと思うのもっと広めてほしいです。

ホームページに議会で使う用語の解説を載せてほしいです。

議会だよりは以前より絵やレイアウトがやさしくなり読みやすいです。

この取材の詳しい内容はHPに掲載しています。

天塩町議会 |

検索

議会を傍聴しませんか？

第2回定例会は
6月16日～18日
の予定です。

一般質問は16日に行う予定です。
質問者・内容はホームページやLINEに掲載します。



町民相談コーナーを開設しています。ご相談がある方はお気軽に議会事務局まで問い合わせ下さい。



「LINE」に公式アカウントを開設しています。議会の情報を発信していますので、ぜひご登録ください。



動画配信サイト「YouTube」で本会議の録画配信をしています。QRコードからご覧ください。